

# 授業改善プラン

地域名	北総教育事務所	学校名	香取市立栗源小学校
-----	---------	-----	-----------

## 1. 課題（全国学力・学習状況調査結果から）

- 平成30年度調査において、知識を活用して問題を解決することや筋道を立てて考え、事柄が成り立つことを説明することに課題が見られた。
- 数量関係において、数量の関係を捉えて示された考え方を読み取り、条件に合う内容を判断したり、式に表したりすることが課題である。

## 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 数量関係において、実態に応じた指導方法や学習形態を工夫し、既習の知識や考え方を活用して問題を解決させたり、筋道を立てて考え根拠を明らかにして説明させたりすれば、自ら考え表現する力が向上し、活用する力が育つであろう。

## 3. 具体的な実践

- 第5学年「単位量当たりの大きさ」
  - ・意欲を高めたり、日常で算数が活用できることに気付いたりできるよう身近な素材を用いた。
  - ・題意を捉え正しく立式できるように、数直線を用いて問題解決ができるようにした。
- 筋道立てて考え根拠を明らかにした説明
  - ・題意を捉えて立式したり考えを相手に分かりやすく伝えたりするために、図や数直線等を用いて考える授業を行った。
  - ・根拠を明らかにして説明できるよう、低・中・高学年で目標（付けたい力）と話型を示した。

## 4. 成果

- 検証授業実施学年の結果について
  - ・身近な素材を提示することで、考えたいという意欲が高まり、日常の生活でも算数を使いたいという児童が増えた。また、事前調査の無解答率71%が、事後調査では、どの問題も無回答者がいなくなった。「わかると楽しい。考えることが楽しい。」と答える児童が増え、意欲が向上した。
  - ・題意を捉え、自分で数直線がかけられるようになり、立式ができるようになった。数直線を基に、答えの確認もできるようになった。
- 筋道立てて考え根拠を明らかにした説明について
  - ・図や数直線を用いて立式したり、式の理由を説明したりできる児童が増え意欲につながった。
  - ・分かりやすい説明ができるようになった児童が増えた。聞き手が主となる話合いに取り組んだことで、質問したり考えのよさに気付いたりするなど理解して聞く力つながら、深まりのある

### ◆担当指導主事から（北総教育事務所 指導主事 菅澤 純夫）

香取市立栗源小学校は、全職員で全国学力・学習状況調査の結果を分析し、分析結果を踏まえた授業改善を全職員共通理解の下実施した。

次年度は、本年度の成果を活かしつつ、「個に応じた指導の工夫」「聞き手が主となる話合い」「学習意欲の向上」等を高めるための研究を柱に、より一層「わかる・できる」授業づくりを実践されることが期待される。